

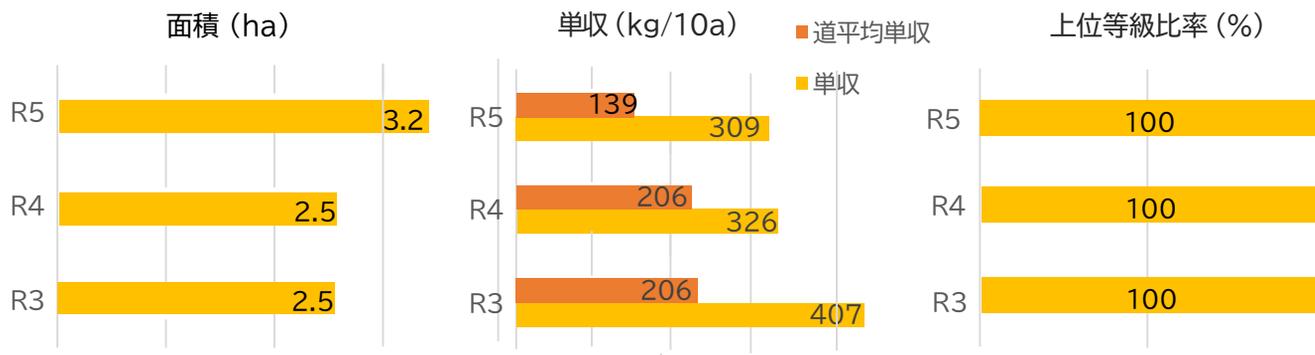
上位等級比率3年連続100%。土づくりを徹底し道平均を大きく上回る単収を実現

# 中村 裕一

北海道訓子府町

**基幹作物** 小豆3.24ha(品種名:エリモ167)、小麦、てん菜、馬鈴しょ  
**特徴** 6年ごとの作付となる輪作体系の構築やバーク堆肥の投入等、地力の維持・向上に努める。化成肥料を使用せず中耕を5回行うことにより、根粒菌の活性を高め、環境負荷の少ない生産体系を実施している。

## 小豆生産状況



## 栽培上の特色

- 小豆作付けの課題の一つである輪作について、6年毎の作付けとなるような輪作体系の構築やバーク堆肥の投入等地力の維持・向上に努めている。
- 土壌の物理性の向上や土壌養分の流亡抑制のため、冬期には「雪踏み」を活用した土壌凍結深制御を実施している。

## 経営改善の取り組み

- 「北地区豆コンバイン組合」を立ち上げ、コンバインを導入したことにより、収穫時の作業時間が1/2に短縮し、地域の省力化・作業効率の向上に貢献している。
- 地域の農協青年部員や資材メーカーと連携した実証試験圃を毎年設置しており、新たな栽培技術の確立および町内への波及に努めている。
- 環境負荷低減のため、化成肥料を使用せず中耕を5回行うことにより、根粒菌の活性を高め環境負荷の少ない生産体系を実践している。

## 販売・消費拡大への取り組み

- 令和2年以降「エリモショウズ」から落葉病抵抗性を持つ「エリモ167」に切り替えることで収量の確保に努めるとともに、実需からのニーズに対応している。